

令和6年度 高千穂町立上野小・中学校評価書

[4段階評価] 4…期待以上 3…ほぼ期待通り 2…やや期待を下回る 1…改善を要する

	重点項目	評価指標	学校の自己評価コメント	自己評価	学校関係者評価	学校関係者の評価コメント
学びづくり	個に応じた授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種学力検査等の結果を分析し、「分かる・できる」授業を展開する。 ○ 体験的な学習や問題解決的な学習を推進する。 ○ 小学校教諭の指導技術と、中学校教諭の高い専門性を組み合わせたチームで、授業づくりを行うことで、個に応じた授業づくりをねらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業研究を小中合同の班で行い、多角的な視点での研究ができるよう努めた。 ○ 授業の「まとめ」・「振り返り」に重点を置き、学習内容の定着と教師の評価につなげた。 	3	4	取組を進めたことは評価できる。
	ICTを活用した授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ICTを活用した学習活動」をテーマに授業や校務におけるICTの活用を進める。 ○ 一人一台タブレットを活用した授業実践を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Teamsを活用した学習活動や委員会の会議を行ったことで、ICTを活用した効率よい活動を計画できた。 	4	4	子ども一人ひとりのICT技能が向上している。
	家庭学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「チャレンジスタディウィーク」として期間を設け、学習のポイントや覚え方など、テストの対策をまとめ取り組む。 ○ 「学習指導週間」の実施や、家庭学習の取組方の紹介による保護者の家庭学習への啓発を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ テスト範囲を早めに伝え、家庭学習の計画とテスト対策プリント作成を行えた。理解するための工夫や時間を作るための工夫を各自で行っていた。 ○ 家庭学習の取り組み方の紹介を学年ごとに行い、家庭学習の啓発を図ることができた。 ○ 家庭訪問や懇談会で家庭学習の手引きについての説明を行い、全学年が学年の実態に応じた家庭学習の取組ができた。 	4	4	
	読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 担任や小学6年生による相互読み聞かせ、中学生から児童への読み聞かせをとおして、お薦めの本の紹介を実施する。 ○ 図書担当事務職員の加配により、図書館の環境整備や読書活動の推進を図る。 ○ やまびこ文庫の冊数を増やすことで、学級の文庫を充実させる。 ○ 中学校NIE指定実践校として、新聞を活用した活動や、授業を展開する。 ○ 中学校学習文化委員会による読書推進活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今年度で閉校ということもあり、中学生から小学生への読み聞かせを数年ぶりに実施した。中学生には「読み声」を実施し、読書教育の充実を図った。 ○ 図書担当事務職員の加配により、図書館の環境整備が図られた。また、いろいろなアイデアを出してもらい、児童が読書活動に積極的になった。 ○ NIE教育の一環として、帰りの会での新聞記事紹介や記事の特集を掲示し、生徒の意見を集約する等の活動を行った。 ○ 中学校学習文化委員会による読書推進活動として、前半は委員から、後半は全生徒及び職員からお薦めのほんの紹介を掲示物と校内放送で行うことができた。 	4	4	図書館の環境整備が図られ、大変よい雰囲気に変化した。

	キャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校では、地域人材を活用した「ふれあい教室」や「上野ハローワーク」を実施する。 ○ 中学校では、職場訪問（中1）、修学旅行（2年）職場体験・高校説明会（中3）や礼法指導などを実施し、系統的にキャリア教育を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小・中学校ともに、各教科の学習と関連づけながら、キャリア教育の推進を図ってきた。今年度は特に小・中学校の交流を深め、「上野ならでは」のキャリア教育が実践できたと感じている。来年以降、系統性が薄れてしまわないような工夫が必要。 	4	4	
心づくり	特別の教科「道徳」の授業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年間指導計画に基づいて、計画的に授業を行う。 ○ 校内で、道徳の授業を参観し、授業力を向上する。 ○ 参観日において、道徳の授業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、年間指導計画に基づいて、計画的に授業を行うことができ、板書や発問の工夫が見られた。 ○ 校内で、道徳の授業を参観する機会は設けられなかつたが、職員が互いに道徳の授業について相談し合うことはできた。 ○ 参観日において道徳の授業を行ったり、学級通信で授業の内容を知らせたりすることができた。 	3	3	小学校だけになるが、今以上の対策を期待している。
	豊かな心を育む教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「お芋学習」「お米学習」などの地域との連携学習や「棒術」「人形浄瑠璃」「上野臼太鼓踊り」「神楽」などのふるさと学習を通して地域のよさを発信する。 ○ 沖縄県豊見城市との交流学習を実施し、「エイサー」を通して地域との交流を図る。 ○ 小学校150周年、中学校閉校の節目となる行事等を各教科と関連付けることで、児童生徒の豊かな心（愛校心）を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小・中学校それぞれの節目の年に、学校行事、児童・生徒会活動、PTA活動等様々な取組を実施することができた。児童生徒の豊かな心（愛校心）を育むことができた。 	4	4	
	レジリエンスや非認知能力を高める教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業における立腰教育を推進する。 ○ 学級通信の中で、個人の頑張りや学級での関わりを記載することで、信頼感や有能意識を高める。 ○ 小さな目標を立て達成することで、充実感や達成感をもたせる。また、目標達成までの過程を大切にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級通信や連絡帳、児童・生徒の前で個人の頑張りや学級での関わりを記載したり発表したりすることで、教師と児童・生徒、児童・生徒同士の信頼感や児童自身の有能意識を高めることができた。 	4	4	これからもより個々の能力を引き出してほしい。先生の気づきが大事である。
	小学生と中学生が交流し、合同で取り組む活動・行事の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小中合同の玄武タイムや縦割り清掃で、花壇の整備や清掃活動を実施する。 ○ 小中合同の始業式や終業式、運動会や文化発表会等の学校行事を教育課程に位置付ける。 ○ 給食時の校内放送では、小中共通の内容や話題等、児童生徒の交流が図られる企画を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者クラブの方々の協力を得ながら小中連携し絆を深めることができた。 ○ 学校行事を教育課程に位置付け、さらに学校・家庭・子どもがひとつとなり、成功へと導くことができた。 ○ 児童・生徒による工夫の凝らされた放送で、毎日の給食時間をさらに充実させることができていた。 	4	4	今後も継続した取組を行っていただきたい。

	環境教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「上野流清掃の心得」を清掃前に放送で聞き、無言清掃の質を高める。 ○ 玄関前掲示では、担当学年や委員会で計画的に、季節や行事に合わせた掲示物を作成する。 ○ 児童生徒の作品や各種大会・コンクール等の賞状を掲示し、掲示教育を充実する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学生が中心となってまとめ、無言清掃を行うことができていた。 ○ 玄関前掲示は、その時期に合った内容を工夫して掲示することができた。また、廊下や階段にも児童生徒の活動の様子が伝わる掲示物を時期に応じて掲示することができた。 	4	4	
体づくり	体力向上の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体力向上プランを作成し、体育や保健体育の授業を中心に活用し、児童生徒の体力向上を図る。 ○ 朝の時間を活用し、「ランランタイム」「ジャンプタイム」を実践し、体幹を鍛える。 ○ 小中合同運動会や体育的行事の充実を図る。 ○ 外遊びを奨励し、自力登校を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校と中学校が協力し、役割分担を行い、児童生徒が達成感や満足感を味わえることのできる体育的行事を行うことができた。 ○ 職員が一緒に遊ぶことで、外遊びをする児童生徒が増えた。 ○ 体力向上を意識した合同体育を計画することで、体育の授業の充実を図ることができた。 ○ 朝の時間を活用し、体力向上の取り組みを実施することができた。 	3	4	保護者アンケートの結果より、自力登校の評価が低かったが、地域の方々は、自力登校をしている児童生徒は多いと感じいらっしゃる。
	健康・安全教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交通教室や避難訓練を実施し、自ら危険を回避する能力を育成する。 ○ 安全点検を月1回実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒が日頃から安全に学校生活を送れるよう計画的に実施することができた。 	4	4	
	食育に関する指導の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒が料理を自分で作る取組を実施する。 ○ 食育の年間計画を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ JA青年部やボランティアの方々と協力して、お米やお芋を育て、収穫し、食べることができた。 	4	4	
	ふるさと学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校外学習や総合的な学習の時間に、ふるさとを知る見学、講話などを行う。 ○ 各教科と関連付けて「GIAHS（世界農業遺産）」を題材として授業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合的な学習と関連付けながら「GIAHS」の学習を進めた。地域を知り、他地域と比較することで、郷に誇りをもつ児童・生徒の育成に繋がった。 	4	4	
地域と連携した学校づくり	伝統芸能の継承	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「棒術」や「神楽」「臼太鼓踊り」「エイサー」を運動会や文化発表会で保護者や地域の方に披露する。 ○ 伝統芸能の指導者の方と打合せ会を行い、練習日程や時間の確保を調整する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化発表会の場を目標として取り組むことで、かなり高い水準で伝統芸能を披露することができ、保護者や地域の方からも好評価をいただいた。 ○ 伝統芸能の指導者との打合せ会を行い、練習日程の調整や時間の確保を行うことができた。後日、指導者と職員の会も設定し、伝統芸能伝承の大切さを共有できた。 	4	4	中学生が取り組んでいた神楽・上野臼太鼓踊りができる範囲で小学生も引き継いでほしい。この伝統を絶やさないと感じる。

	地域との連携・協働と地域行事等への参画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域学校協働活動推進委員と連携しながら、地域の人材を積極的に活用する。 ○ 春祭りや神楽等、地域行事に積極的に参加し、伝統芸能を継承したり、行事の準備や計画に加わったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域学校共働活動推進員と連携し、地域の人材活用と地域の事業所との連携・協力も行うことができた。 ○ 積極的に地域行事や伝統芸能継承に励む児童・生徒の姿が見られた。今後も推進すべき。 	4	4	
信頼される学校づくり	教育の質の向上と児童生徒の教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ ワーク・ライフバランスのとれた生活を実践し、退庁時刻を意識した業務に取り組む。 ○ 校内研修を充実させたり、校外での研修や質の高い授業を参観したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 勤務の振替提案をおこなったりすることで、時間的ゆとりが生まれるようにした。 ○ コンプライアンスアンケートを2回実施し、最初と2回目との意識の変容を確認した。先生方の意識の高さを確認できた。今後も服務規律の遵守の取組を継続して行っていく。 	4	4	
	家庭・地域への積極的な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級通信やホームページ等で情報を保護者、地域に発信する。 ○ 参観日やPTA総会等を通して、保護者や地域の意見を積極的に学校運営に取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日常の様々な活動をホームページで紹介することができた。 ○ 懇談やPTA総会等であがった要望等については全職員で共通理解し、教育活動に取り組むことができた。 	3	3	今後もより発信に努めていただけたい。
	学校評価の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校評価に係る学校運営協議会を年2回実施する。(学校評価の実施、公表、報告) ○ 教育活動に係る児童生徒アンケート・保護者アンケートを実施する。次年度への教育活動に生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校評価書については、「児童・生徒」「保護者」のアンケート評価項目と「学校」のアンケート評価項目とが、関連づけができるようにした。 ○ 保護者アンケート、児童生徒アンケートは1月に実施。 ○ 2月の参観日において、学校運営協議会を実施。 	3	4	今年度は児童生徒・保護者のアンケート結果が提示され、評価指標とリンクしていたので評価しやすかつた。